として選考されました。その後、理事長に推薦し、理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されることになりました。

なお、今年度から単に助成金を授与するのではなく、「肥後医育振興会学術奨励賞」という賞を付与し表彰することとなりました。

尾田　済太郎（三十五才）
熊本大学大学院生命科学研究部　特任助教　画像診断解析学分野
「心臓MRIを用いた家族性アミロイドポリニューロパチーにおける心筋障害の定量的評価法の開発」

哈　斯塔（三十二才）
熊本大学大学院生命科学研究部　研究員　細胞病理学分野
「高悪性度白血病／リンパ腫におけるコレステロール代謝異常を利用した新規治療法の探索」

平田　快紘（三十二才）
熊本大学大学院医学教育部　博士課程四年　循環器内科学分野
「左室収縮保持性心不全におけるgalectin-3の関与機序の基礎ならびに臨床的検討」

藏重　淳二（三十五才）
熊本大学医学部附属病院　特任助教　消化器外科
「腹膜播種モデルマウスを用いた胃癌腹膜播種の病態解明と治療法の確立」

野井　健太郎（三十二才）
熊本大学発生医学研究所　特定事業研究員　分子細胞制御分野
「神経変性疾患に関する分子シャペロンVCP／p97の分子機構の解明」

平成二十七年度（第十九回）肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う

医学・医療国際交流支援事業の一つとして、平成二十七年度（第十九回）肥後医育振興会外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、医学研究助成金授与候補者の選考に併せて行われました。

本年度は熊本大学大学院医学教育部長から推薦を受けた三名の応募があり、いずれの応募者も奨学助成対象者に相応しいとして三名全員が授与候補者として選考されました。

その後、理事長に推薦し、理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されることになりました。

なお、今年度から単に奨学金を授与するのではなく、「肥後医育振興会優秀留学生表彰」という賞を付与し表彰することとなりました。

馬　翊竑
熊本大学大学院医学教育部
博士課程一年（中国）
（神経内科学分野）

国　鴿
熊本大学大学院医学教育部
修士課程一年（中国）
（分子遺伝学分野）

潘　程
熊本大学大学院医学教育部
研究生（中国）
（細胞病理学分野）

速報　平成二十七年度医学研究助成金・外国人留学生奨学金の授与式を開催

平成二十七年度第二十回肥後医育振興会医学研究助成金及び第十九回肥後医育振興会外国人留学生奨学金の合同授与式が、平成二十七年十一月十七日に医学教育図書棟四階ゼミ室において行われ、西理事長から医学研究助成金五名、外国人留学生奨学金三名に対して、各十五万円が受賞者ひとり一人に手渡されました。

また、それぞれの受賞者の代表者から謝辞及び今後の決意が述べられました。

学生の自主活動への支援
学園祭の廃止から復活まで

第二十一回本九医学祭実行委員長
熊本大学医学部医学科五年
藤山　寛之

この度は熊本大学医学部の本九医学祭運営のため肥後医育振興会助成金を賜り、誠にありがとうございました。医学部学生を代表して深く感謝申し上げます。

私藤山が実行委員長を務めるのは一昨年に続き二年ぶり、二度目となります。昨年は実行委員として働くことのできる学生が集まらなかったため、開催されておりません。

医学科の学生というのは日々、余裕のないカリキュラムや厳しい部活動、バイトに気を取られており、それ以外に時間を割くことを極度に避けたがる傾向にあります。たしかに学園祭の運営に携わったとしても学業面で有利になることはなく、体育大会優勝のような名声を得られるわけでもなく、給料も出ません。そのうえ地味で目立ちません。秋のたった二日間のために長期にわたる労働を強いられることを不条理に感じる学生が多いのは自然なことです。

そもそも学園祭を存続させる必要があるのか、私は疑問でした。昨年度、後を継ぐ学生が現れなかった。誰も学園祭になんか携わりたくなかった。それならその現実を肯定的に受け入れ、やめてしまえば良いではないかと考えました。嫌がる人々に無賃金労働を強制する権利が一体だれにあるのでしょう。存続させるべ